

アンケート自由意見(マリンゲート島根)

1	・今後を見守りたい。各対策が定着するよう努力されたい。
2	・信用できるのか？
3	・早急に2号機の運転を再開してください。役員、職員1人1人の自覚をもって下さい。
4	・国の原子力安全・保安院は元より、県・市共に定期的に点検を完全に行ってもらいたい。特に市は身近な役所ですから住民の安全を守ってもらいたい。
5	・不適合管理等原発運転の安全管理情報の広報について、HPだけでは中高年者のアクセス機会が限定的である。新聞等幅広く広報周知させるべき。
6	・引き続き再発防止等を着実に進められたい。
7	・<保安院資料の>16ページ 保安院 今後の内容について実施を願う。
8	・安全第一
9	・再発防止の取組みについて良くわかりました。
10	・保安院の評価でも「安全上の問題はないものと判断」されており、早期に2号機の運転を再開されるべきだ。
11	・再発防止への姿勢は認めるが、戸別訪問まではどうか...他の方法もあるのでは...
12	・原子力保安院に対して 継続して点検を行うということですが毎年実施してもらいたい。
13	・保守管理が確実にに行われていることが良くわかりました。発電所の再開を早くしても良いと思います。
14	・保守管理70,000点くらいある事が今日まであまり知られていなかった。1,2号機ですべて安全基準が何万点ある中で何%点検が済み、何%残っているとの中間報告、期限までには何日かかるか、何日までには終了するとの発表があるべきだと考えます。よろしく願います。
15	・2度と起きないように実行されたい。2号再開しても良いのでは
16	・日中、日朝外交の不安があるのに、社内教育の不備による今回の問題は、住民に増々の不安を与えるものである。せめて、設備及び社員に不備のないよう願います。本日色々な説明があったが、私達住民は、原因・説明など必要ない。とにかく安全であることである。 *原子力安全は絶対なものでなければ、住民はどうすればよいのか！ ・「島根原子力発電所の保守管理の不備等に係る住民説明会」この様な説明会は何ものと思っていたが、人的ミスによるこのような不備は絶対にあってはならないことである。 ・島根県、中電からのお詫びと原因究明・対策説明の会と思うが、中電側にお茶があり住民にないのは常識でない。逆である。この様な心配りが無い上層部であるから部下も心配りできないのではないか。両方ないのならよい。
17	・お疲れ様です。毎日島根原子力発電所の運営について信頼しており安全は久しく続くものと今も願っています。 ・本日の中国電力の原子力本部長様からの説明ですっきりしない点がありました。今まで保守管理はどのような組織で何人くらいが行っておられ(どの程度の期間で)、今後は何人でどの程度の時間を要すれば再発をクリアされるのか...そして技術的な人材を配置したか。具体的な数字も加えてほしかったです。 ・(基本的なことがわかりません)原子力の保守点検はどれくらいの人と時間を要するのですか？全関係者の %の人。 /365日。今後はどうされるのか。
18	・改善策の有効性について良否の判定ができなかった (能力不足) ・設置(1号機)から今まで従来の方法でよく不備が発生しなかったものだ
19	・運転再開
20	・それぞれの仕事に対する誠意が問題、それぞれの部所において初心にかえり仕事に励んでいただきたい
21	・他の電力会社の状況を参考にしたのか？ ・他の電力会社でも同じように点検を行っていると思うが、なぜ中国電力だけ保守管理に不備があったのか再度検討いただきたい
22	・今後、再度・不祥事が有った場合、原発反対の立場をとりたいと思う。安全・安心第一・ガンバッテ！！
23	・中電のガバナンスの強化を望む
24	・説明は理解できる。運転再開すべき。安心安全は基本。
25	・ていねいな説明で中電の再発防止に対する決意、施策が理解出来た。役職員の安全に対する意識の改善等の教育の継続など及び安全文化醸成活動など評価出来る原因調査とそれに対する施策も実施しているので効果があるだろう。中電職員の戸別訪問での説明も続いており、再発防止への熱意が理解できる。
26	・対策を述べただけでさっと終わった感があり ・しっかり再発防止等を実施して欲しい。

27	<p>・松浦市長から意識の改善の話。本部長から安全文化の醸成活動と今回の事案の風化を防ぐ等の説明あり、只、中電社員に対する教育についての言及なし。国には日本国の歴史があり、県には県の市にも又各家庭にまでも、それぞれの歴史があり。その歴史を正確に学ぶことによって、人間として市民としての自覚が生まれ、自らの行動基準が確立するものと思う。昭和40年代の1号機から現在までの原発に関する歴史に関する社員教育はどうなっているのですか。</p> <p>・その時々の中電の考え方、県の対応、地元の考え方、住民の心配、もの言わぬ地域住民の心配、永い間、これにかかわった機関、人々の人数やその期間、時間とエネルギーは膨大なものがあり、これらをまとめ、社員教育をすべきと考える。教育は一回でなく、毎年繰り返すことが肝心。</p>
28	<p>・全国点検最下位ははずかしい。</p>
29	<p>・意見が出ないのにおどろいた。</p>